

ふくしまの  
今が分かる  
新聞

vol. 49

2016年11月17日

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆さま、福島県内外に避難されている皆さま、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆さまへ、避難者支援の状況や福島の復興への動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

# ふくしまの元気な子どもを育む

福島県では、安心して子どもを生み育てられる子育て環境の整備を行っています。今号では、子どもたちの健やかな成長のための取組や、ふくしまの元気な子どもたちの様子についてお伝えします。

## 地域子育て支援拠点について



県内の市町村では、地域の子育て家庭が気軽に集まり、子育て中の親子の交流を深めたり、さまざまな支援サービスを受けることができる場「地域子育て支援拠点」を提供しています。今回は、「郡山市子ども総合支援センター（ニコニコ子ども館）」の取組をお伝えします。

### 子育て支援 保健・福祉・教育が一体となった支援

郡山市は、平成21年4月より、子どもと子育て家庭を応援する施設「ニコニコ子ども館」の運営を行っています。乳幼児健診や子育て講座、育児・教育に関する相談や、各種給付・一時保育の受付、また親子が交流できる広場や体験コーナーを設置し、子育てに関するあらゆる支援をワンストップで提供しています。

この施設を拠点として、子育て支援団体等と協力しながら、地域社会全体で「子育てが楽しくなるまち」づくりを進めています。

### 子育て支援 親子で楽しむ交流の場

ファミリーひろばでは、平日毎日、制作遊びや体操のイベントを開催しているほか、保育士が常駐し、気軽に育児相談をすることができます。ファミリーひろばは郡山市以外の方も利用が可能で、親子同士が楽しく交流でき、子育て仲間づくりの場にもなっています。

郡山市子ども総合支援センター（ニコニコ子ども館）

所在地 郡山市桑野1-2-3（郡山市役所西庁舎の西隣）

問 郡山市子ども支援課 ☎024-924-2525

### 県内の地域子育て支援拠点について

問 福島県庁 子育て支援課 ☎024-521-8205

※その他の施設についてはこちらからご覧ください。

福島県 地域子育て支援拠点

検索

パパやママ達と情報交換したり、保育士さんと気軽に話ができとても助かります。



みんなで一緒に体を動かすのは楽しいね！

いつでもイベントがあって、親子で楽しめます！

## ちびっこ自然あそび事業について

県では「ふくしま県民の森フォレストパークあだたら」において、未就学児を主な対象とした自由遊びや自然体験を行う「ちびっこ自然あそび事業」を実施しています。参加者の様子などについて、公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団にお話を伺いました。



フォレストパークあだたら 遠藤 史貴さん

### 自然体験 ふくしまの自然を思いっきり体感する

森林を活かし、五感を使って自然を楽しむ外遊びを実施しています。小川で生き物を捕まえたり、暗い森の中をろうそくの灯りで歩いたりなど、参加者は、非日常の体験をのびのびと楽しんでいます。

12月後半からは、安達太良山の冬を楽しむプログラム「ちびっこ自然探検隊～雪の森散歩とそり遊び～」を企画し、雪を使って思い切り体を動かす外遊びイベントを予定しています。



### 自然体験 子どもは遊びの天才です

小さなお子さんにとって、森林はたくさんの刺激で満ち溢れています。これらを五感で直接体験できることは、お子さんの成長にきっとプラスになります。どうやって外遊びをさせていいかわからないというお声も聞きますが、子どもは遊べる環境さえ作ってあげれば、自然と自分で遊びを作り出します。ぜひ、このイベントに参加して、お子さんに外遊びを楽しむ機会を作ってあげてください。

開催場所 安達郡大玉村玉井字長久保68

問 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団） ☎0243-48-2040



森の秘密基地作り



夜の森昆虫ウォッチング



## ふくしまの四季

～木幡の幡まつり（二本松市）～

## 錦秋

## ～子育て中のお父さん、お母さんを地域が支える～ ファミリー・サポート・センターをご利用ください

県内の市町村では、子どもの育児等の援助を受けたい方（依頼会員）と援助を行いたい方（提供会員）とが会員となり、地域の中でお互いに助け合う活動を支援する「ファミリー・サポート・センター」を設置しており、現在25のセンターが活動を行っています。

詳しい活動や利用料金などは、下記ホームページよりご利用になりたいセンターまでお問い合わせください。

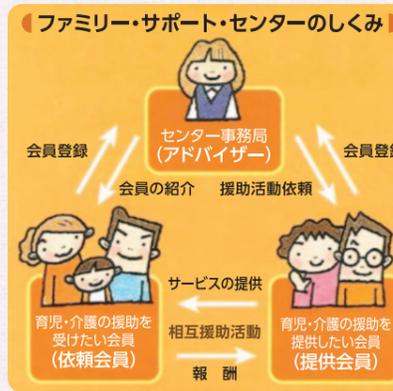
### こんな時にご利用ください

- 保育所・幼稚園・小学校などへの子どもの送り迎え、終了後の預かり
- 保護者の急用や外出の際の子どもの預かり など

急な残業が入ってしまっ  
て、保育園のお迎えに行け  
ない……。



家族が病気になってしまっ  
て、子どもの世話をどうしよう……。



福島県 ファミリー・サポート・センター一覧 検索 問 福島県庁 子育て支援課 ☎024-521-8205

## ファミたんカード 全国共通展開のお知らせ

県では、市町村や事業者の方と連携して、子育て応援パスポート（ファミたんカード）事業を実施しています。平成28年4月より、内閣府による子育て支援策の強化として、「子育て支援パスポート事業の全国共通展開」が図られ、現在46都道府県が参加しています。

全国の下記ステッカーのあるお店でサービスを受けることができます。福島県内の協賛店や全国共通展開の参加自治体については、下記ホームページよりご覧ください。

### 全国共通ロゴマーク



### ファミたんカードとは？

県内に住所のある子育て世帯がカードを協賛店で提示すると、お店のご厚意により割引やプレゼントなど、さまざまなサービスを受けることができます。カードは各市町村の窓口申請の上、お受け取りください（県内に避難されている方は、避難先の市町村でも申請が可能です）。

※対象は、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもがいるご家庭です。

※県外に住所を移転された方は、避難先都道府県の子育て応援パスポートをお受け取りください（対象世帯は各都道府県により異なる場合があります）。



▲ファミたんカード

ファミたんカード 検索 問 福島県庁 子ども・青少年政策課 ☎024-521-7198

## 平成29年度全国高等学校総合体育大会 南東北インターハイに向けた競技力強化を行っています



高校生最大のスポーツの祭典「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」が、平成29年度に南東北（山形県、宮城県、福島県、和歌山県）を舞台として開催されます。

県では、この南東北インターハイに向け、県外の高校生や指導者等を福島県に招き、選手の強化を行うとともに、本県の状況や子どもたちの元気な姿を発信する「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクトを実施しています。

プロジェクト3年目となる今年度は、22競技において、約1万人が参加し、強豪校との試合や指導者間のワークショップ等を行っています。

9月に、県高体連弓道専門部が會津藩校日新館にて行った2日間の交流試合では、新潟県から71名、県内90名の参加者が緊張感のある試合を行い、宿舎では会津の郷土料理を味わうなど、福島県の歴史と風土を感じながら交流を深めました。

※平成29年度南東北インターハイの詳細については、こちらからご覧ください。

南東北総体 検索 問 全国高等学校総合体育大会福島県実行委員会 ☎024-521-8672



## 「民間賃貸住宅等家賃補助事業補助金」の申請を受け付けています

**対象世帯** 応急仮設住宅等に避難している世帯のうち、収入要件を満たし、供与期間終了後も民間賃貸住宅等で避難生活を継続することが必要な世帯(県内避難者については、避難の継続が必要な妊婦・18歳以下の子どものいる世帯、指定難病や障がい[障害等級第1級、第2級]のため避難先の特定の病院での治療を必要とする世帯)。  
 ※避難指示区域(平成27年6月15日時点)からの避難世帯、原子力損害賠償(住宅確保損害及び家賃に係る賠償)の対象世帯は対象外となります。  
 ※収入に応じた家賃設定をしている公営住宅については対象外となります。

**収入要件** 「世帯全体の所得」- (38万円×同居者数) ÷ 12月 ≤ 214,000円/月  
 ※ただし、母子避難などの二重生活世帯は、「世帯全体の所得」を1/2として取り扱います。

**補助対象期間** 平成29年1月から平成31年3月まで  
 ※制度を公表した平成27年12月25日以降に賃貸借契約を締結した住宅を対象とします。

<b>補助内容</b> (①+②)	①初期費用	定額10万円	
	②家賃等	1年目(平成29年1月分から平成30年3月分まで)	家賃等の1/2(上限月3万円)
		2年目(平成30年4月分から平成31年3月分まで)	家賃等の1/3(上限月2万円)

**申請書類と受付時期**  
 (1) 収入要件の事前確認(希望世帯のみ) → **収入要件事前確認依頼書**(第1号様式)  
 平成28年10月3日から同年12月28日(当日消印有効)まで。  
 (2) 補助金交付申請 → **補助金交付申請書**(第3号様式)  
 平成28年10月3日から受付中。

※その他、申請方法や必要書類等については、**福島県家賃支援**のWEBサイトをご確認ください。

**問 福島県民賃等補助金事務センター申請支援窓口(福島県庁 生活拠点課)**  
 ☎0800-800-0218、0800-800-0261、0800-800-0273(業務委託先:(株)トーネット)

## 福島県内の学校への転入学や選抜試験について

福島の学校に戻るにはどうするの?

**高等学校入学者選抜について**  
 県教育委員会のホームページにおいて、平成29年度県立高等学校入学者選抜関連情報を掲載しております。  
**福島県 高校教育課**

**県内及び県外からの転入学について**

**小・中学校の場合** 現在在籍している小・中学校へご相談ください。

**高等学校の場合** 転入を希望する県立高校の転入学試験を受験し、転入学を許可される必要があります。転入学を希望する場合は、現在在籍している高等学校にお問い合わせください。  
 ※転入学試験は希望先の高校の定員の欠員状況によっては実施されないこともあります。

**特別支援学校の場合** 今お住まいの市町村の教育委員会または県教育委員会へご相談ください。

手続き等に関してご不明な点は、担当各課までお問い合わせください。

**問** ●高校への転入学、入学者選抜について ☎024-521-7772(高校教育課)  
 ●特別支援学校への転入学、高等部入学者選抜について ☎024-521-7780(特別支援教育課)

## クックパッド福島県公式キッチン「はら食っち〜な ふくしま」を開設しました

福島県のおいしくて魅力ある農林水産物を使ったレシピを紹介するため、レシピ投稿・検索サービス「クックパッド」内に公式キッチンを開設しました。

「はら食っち〜な ふくしま」には、福島の方言「はらくっち(おなかいっぱい)」と、ふくしまの農林水産物に親しみをもって食べてほしいという思いを込めました。浜通り、中通り、会津地方と、地域ごとに変化に富んだ豊かな気候風土の「ふくしま」だからできる「おいしい」農林水産物。ふくしまの郷土料理をはじめ、旬の食材を使ったレシピをどんどん更新していきます。生産者の愛情がたっぷり詰まった「おいしいふくしま」を使った料理を作ろう! みんな一緒に「はら食っち〜な♡」

**ふくしまの漁師めし「ホッキ飯」**  
**ふくしまのソウルフード「みそかんぷら」**

**福島県公式クックパッド**

**問 福島県庁 農林企画課** ☎024-521-7319

## 福島県ふるさと住宅移転(引越)補助金について

東日本大震災により、応急仮設住宅等に入居していた方が、自宅等への移転をした場合に要した費用について、補助金を交付します。

**対象世帯** ※平成29年3月31日までに完了する自宅等への移転が対象となります  
 避難指示区域外(平成27年10月1日現在)から避難しており、県内外の応急仮設住宅等から、県内(県内避難世帯は避難元市町村)の自宅等へ移転した世帯。

**応急仮設住宅等** 建設型仮設住宅、借上げ住宅、公営住宅等のみは仮設住宅、その他自治体の支援により無償提供されている住宅  
 ※避難元市町村、新たに建設・購入・賃貸する住宅、災害公営住宅(地震・津波被災者向け)、その他公営住宅等

**補助額** ※(一)内は単身世帯の額  
 ●県外からの移転 10万円(5万円) ●県内からの移転 5万円(3万円)

**申請の流れ** ※①には、借上げ住宅等の契約書、退去届書(これから退去される方等の写しの添付が必要となります)  
 ① 応急仮設住宅退去等確認書(第2号様式)を避難元市町村に提出し、確認を受けてください。  
 ② 市町村の確認を受けた書類と次の**必要書類**を、県へ郵送してください。

**必要書類** ※申請書様式は県民生活支援課WEBサイト、県地方振興局企画商工部、各市町村窓口にご設置しております

**申請期限**  
 ① 避難元市町村への応急仮設住宅退去等確認書(第2号様式)の提出期限  
 自宅等への移転完了日から3カ月を経過した日の属する月の15日  
 ② 県への補助金申請期限(期限日までの消印有効)  
 自宅等への移転完了日から3カ月を経過した日の属する月の末日  
 (例) 移転完了日 平成28年11月1日  
 ↓ 市町村への提出期限 平成29年2月15日  
 ↓ 県への申請期限 平成29年2月28日

※その他、申請方法等の詳細については、**福島県移転支援**のWEBサイトをご確認ください。

**福島県移転支援**

**問 福島県被災者のくらし再建相談ダイヤル** ☎0120-303-059  
 (月曜〜金曜午前9時〜午後5時 祝日・年末年始を除く)

## キビタンと行く ほっとふくしま

このコーナーでは、キビタンが見つけた魅力的で新しい「ふくしまの今」をご紹介します。

### ～山あいの木造校舎で新しい価値を創造する～ 西会津国際芸術村

西会津国際芸術村は、廃校になった中学校の校舎を活用し、平成16年に誕生した西会津町の文化交流施設です。国内外から芸術家を招き、滞在型のアトリエとして創作活動が行われているほか、公募展、アートワークショップ、ジャズコンサートなどの多様なイベントを開催しています。

また、施設内には「西会津のある暮らし相談室」が設けられ、西会津への移住や定住、地域との関わりや出会い、暮らしに関するサポートなどの相談に応じており、都市と地方を結び役割も果たしています。

西会津の歴史や風土を感じながらアートやデザインに触れ、新しいライフスタイルを探求してみませんか。

**主なイベント**  
 ○平成28年11月2日～12月4日 江口敬 写真展「風姿」、渡邊里絵 絵画展「エクササイズ」  
 ○平成29年1月14日～2月12日 ITWST(芸術村滞在アーティスト)展  
 ○平成29年2月下旬～3月上旬 つるし展(予定)  
 ○平成29年3月中旬～4月下旬 森を渡る(森のはこ舟アートプロジェクト)展  
 ※イベント内容、開催時期は変更になる場合がございます。

**所在地** 耶麻郡西会津町新郷大字笹川字上の原道上5752  
**問 西会津国際芸術村** ☎0241-47-3200  
 入館無料 午前10時～午後5時 ※月・火曜日休館(祝祭日の場合は翌日)

西会津は人と自然がとても魅力的な町です。何度も訪れていただき、この土地の良さを感じてください!

西会津のある暮らし相談室  
 長谷川 久美さん、荒海 正人さん  
 ※電話、受付時間は芸術村同様、HPも開設しています。

私たちはニューヨークの大学でグラフィックデザインを共に学び、2014年からユニットを組み活動しています。1月の展示会では、私たちが出会い、感じた「西会津」を様々な形で表現します。ぜひおいでください!

滞在アーティスト(平成28年4月～)  
 ITWST(I Think We're Still Thinking)  
 Momoe Narazaki & William Shum

▲二人が手掛けた町や芸術村のパンフレット

## JR常磐線 復旧! 小高から北へつながります!

東日本大震災の影響で不通となっていたJR常磐線の相馬駅から宮城県東部の浜吉田駅間が、12月10日(土)に運転を再開します。今年7月には、小高駅から原ノ町駅間が運転を再開しており、小高から仙台までつながることとなります。このことを記念して、県では下記イベントを開催します。入場は無料ですので、皆さまぜひお立ち寄りください。

**JR常磐線運転再開見通し**  
 2016年12月10日開通  
 2016年7月12日開通  
 2017年春までに開通  
 東京電力福島第一原発  
 2019年度中に開通  
 2017年末までに開通

**催し物** 世界的エアレーサー 室屋義秀氏の航空ショーや地元特産品の販売を行う物産展などを開催します。

**日時** 12月11日(日) 午前10時～午後2時  
**場所** JR新地駅 駅前広場

※イベントの詳細な内容は、下記までお問い合わせください。**相双地方振興局**

**問 相双地方振興局 復興支援・地域連携室** ☎0244-26-1116